

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No.257 2018年6月発行

本部OB会定期総会で組織減少に伴い

「OB会ニュース」を奇数月発行に!

今年も現行活動を維持、佐々木・本田両役員が勇退



本部大会議室で開催された本部OB会の第22回定期総会

定期総会は、佐々木副会長の司会で始まり仙台地本OB会の宮田委員を議長に選出しました。その後本部OB会の古川会長、中央本部の奥山副委員長(OB担当)、来賓のJR総連OB連絡会の中村幹事の挨拶を受けた後、新年度の活動方針が提起されて討論が行われました。

例年4月に開催されていた「JR東労組本部OB会第22回定期総会」が、JR東労組を巡る組織混乱の影響で約一ヶ月遅れの5月17日に本部大会議室で総勢86名が参加して開催されました。総会では、この2月以降大量の組合員が「JR東労組」を脱退すると云う激変ぶりに驚く意見が多く出されました。また活動方針では、中央本部のOB会に関わる費用の削減と、エルダー会員の減少による財政面から、「本部OB会ニュース」の発行減などを中心とした活動方針が決定しました。なお今総会で、長年本部OB会の役員を務められてきた佐々木副会長と本田事務局次長が勇退され、古川会長から「感謝状」が贈られました。

総会で出された主な意見

- 今回の様な事態は全く予想できず、OBとして本当に驚いている
- この攻撃は、官邸などの国家権力もからんでいる
- 会社は最初から「労使共同宣言」の破棄を狙っていて、そのチャンスを伺っていたのだ
- 脱退強要とスト方針についていけない人達が脱退したのだ
- 職場に監視カメラが設置されたという、ひどい話だ
- 制裁になった役員の時給と理由がわからないし、制裁者だけが責任を取ればいいとは思わない
- 今後のOB会活動が心配だが、OB会活動の原点は手弁当だ
- 昨年決定した活動を支部へ移行する方針でいいのか

- 定期総会で確認された今年度の「本部OB会活動」の主なものは、中央本部の本部OB会に関わる費用の削減に伴って、毎月発行の「本部OB会ニュース」を、今後

奇数月発行の年6回とする
役員会の開催を減らし、経費削減につとめる
各地のレクリエーションや交流会は、今後も継続して開催する
各支部OB会への助成金は、今年年度も交付する
などですが、7月までに「組織実態調査」を行い、それに基づいて活動の再検討をもう一度行います。
組合員の「大量脱退」、「エルダー会員の減少」という厳しい状況を乗り越え、「JR東労組」を守り抜き「楽しいOB会」にするために、全会員で頑張りましょう。
なお翌18日は、新旧役員で松崎 明さんの墓前に総会の報告をしました。

2018年度新役員体制

顧問	大熊 勝明 (東京)
会長	古川 建三 (仙台)
副会長	廣瀬 隆之 (東京)
"	難波 和正 (横浜)
"	渡部 良司 (新潟)
"	宮田 利昭 (仙台)
"	奥山 光昭 (本部)
事務局長	伊藤 義男 (東京)
事務局次長	川崎 昭雄 (東京)
"	植松 健 (八王子)
"	田崎 行夫 (大宮)
"	鈴木 正彦 (東京)
"	田崎 聡 (本部)
会計監査	扇谷 健七 (千葉)
"	森 泰克 (大宮)
書記	三尾 典子 (本部)

各地本OB会の定期総会始まる

「不安」の先「疑問」に「制裁」

東京と秋田で、JR東労組の混乱と先行きを巡って

東京

5月23日13時より都内の「北とびあ」で、85名の参加者で「第23回定期総会」を開催しました。来賓には、地本、本部OB会、シニア会を始め多くの代表が駆けつけました。発言者は10名で主な意見は

- 14名の制裁理由が分からないし、これは「排除」だ
 - いま日本も会社も組合もおかしくなっている。皆で決めた事は、皆で責任を持つようにして欲しい
 - 闘う相手は会社であり、仲間ではない。相手を間違えている
 - 職場復帰の日に「出向」とは、余りに非情だ
- 幾多の困難にも耐えながら乗り越えてきた参加者は、不敵な笑みと労働者魂でこれからも声を上げながら、現役を支援する決意を固めました。

新役員体制	明
会長	染谷 光延
副会長	久野 義彦
局長	松田 豊
事務局長	坂本 彰司
森下	

秋田

5月26日13時より市内の「フォラムアキタ」で、来賓に地本、本部OB会を迎え総勢56名の参加者で第22回定期総会を開催しました。総会冒頭、昨年度亡くなった14名の会員に黙祷を捧げてから始まり、6名の委員から発言がありました。

- 脱退した平成採は、今後どうしたらいいか悩んでいる
 - 支部事務所が存続できるか心配だ
 - 現役はストを行った後、どうなるかを議論したのか
 - 手弁当で遊び、レクなどを通じて再建するしかない
 - 東労組あつてのOB会である事を知るべき
- 総会後は懇親会を開催し、OBらしく歌も出るなど楽しく一日を過ごしました。

新役員体制	賢
会長	加賀谷 洋一
副会長	神 良美
局長	伊多波 重雄
事務局長	高橋 勝己
畑中	

わが町の 有名人

津軽の「かまきり」(香り)を一杯に沁み込ませた、秋田地本OB会 秋田地本OB会 本弘前支部OB会 洋一(じんよういち)さんを紹介いたします。

国鉄改革当時運転士だった神さんは、「職場と仕事と生活」を守るために三本柱の「派遣」を担い、青森県から静岡県浜松市の自動車工場へ率先して出向き、多くの仲間と共に民間の厳しい労働環境の中で働く体験をしました。

締め民謡にウツリ

またJR移行後も、分会・支部・地本の役員を担い、JR東労組の組織づくりに汗を流しました。その一方で、津軽の風土をこよなく愛する風流人でもあります。

春は芽吹きを喜び、夏は川や海に溶け込み、秋は実りに微笑み、冬はスキーを堪能。また趣味の将棋では鋭い駒捌きをするなど、本当に味わいのあるOBで、支部の後輩達から



らは、「かみさま」と呼ばれています。特に宴会の最後に唄うアカペラの「民謡」は、参加者を惚れ惚れさせています。現在はJR総連青森県協議会OB会の副会長として、津軽地区だけでなく産別OB会の枠をも越えて、幅広い多くの知人・友人と労働者魂を

発揮して地域で奮闘中です。
* 今号で「わが町の有名人」は終了となります
長い間ありがとうございました

9条改憲NO! 5・3憲法集会開催



防災公園で開催された今年の5・3憲法集会

朝までの雨が上がった5月3日13時から有明にある東京臨海広域防災公園で、憲法施行から71年を迎えた「5・3憲法集会」が開催されました。当日は6万人もの人々が集い、安倍改憲NOを掲げ、大きく盛り上がりました。

日本退職者連合の呼びかけで メーデーと反カジノ集会に参加

良く晴れた連休初日の4月28日、JR東労組OB会は貨物労組OB会の仲間と共に、総勢20名で「第89回メーデー中央大会」に参加しました。会場の代々木公園B地区には、都内の各地からデモで参加した4万人が集まりました。

来賓挨拶は、政府の厚生労働大臣と東京都知事の挨拶のみで、野党からの挨拶はなく、一抹の寂しさを感じました。

集会では、来春就職予定の学生代表と福島県の被災地からのアピールがあり、メーデー宣言を採択して終了しました。

また連休が明けた5月9日には、日弁連と共に「カジノ解禁推進法」の廃止を求めている日本退職者連合の「国会請願パレード」に参加しました。

このパレードには、全体で約250名が参加し、日比谷公園から国会まで「カジノ解禁推進法反対!」の声を高らかにあげて行進し、衆参それぞれの面会所で請願を行ってきました。JR東労組OB会も貨物労組OB会の仲間と共に、総勢11名で参加しました。

「我らの声」(第19号)

現在販売中です!

- * 購読希望者は 各地本OB会へ
- * 頒価は 500円です

また昨年から始められ、OB会としても全国各地で取り組んできた「安倍9条改憲反対署名」の中間報告があり、1350万人になったとの発表もありました。安倍自民党は3月の党大会で改憲条項を4点に絞り、今国会での改憲のための発議を画策し、さしあたり「国民投票法」の改正案を持ち出してきています。こうした動きを警戒しつつ、改憲阻止の戦線を更に拡大しましょう。